

Moscato Giallo

北イタリアで広く栽培されている品種
「モスカート ジャッロ」
イタリアにルーツを持つ生産者が
チリ北端ワイン産地のエルキヴァレーで
造る渾身の1本をご紹介します！

Viña Falernia

ビーニャ ファレルニア

ジョルジョ フレッサティ。イタリア北部トレンティーノ生まれ。ワイン造りにかける情熱の余り、畑にするために川の流れを変えるなど、並々ならぬこだわりを持つ。また、ワインの品質の高さが認められ、世界のワイン地図にエルキヴァレーの名を刻んだ立役者でもある。



世界のワイン地図にエルキヴァレーの名を刻んだ立役者
ジョルジョ フレッサティの経験が存分に発揮されています

モスカート ジャッロ 2023

Moscato Giallo

モスカート ジャッロは、名前のおり果皮は濃い黄色をしており、北イタリアのトレンティーノ アルト アディジェで広く栽培されています。数十年前にイタリアからチリに持ち込まれ、今ではスパークリングワイン用として人気があります。バラの花を思わせるアロマティックでフレッシュな香り、アプリコットのような豊かな果実味が感じられます。余韻には、かすかな甘さを感じつつ、程よい酸と調和しています。畑は、ワイナリーのすぐ近く、標高約600mの場所にあります。葡萄の平均樹齢は8~10年です。収穫した葡萄は、ブナマティックプレスで压榨した後、数時間だけスキンコンタクトをしてアロマを抽出します。その後ステンレスタンクで低温に温度コントロールしながら発酵させます。綺麗な澱と共にステンレスタンクで熟成させた後、瓶詰めします。

【白・辛口】 <Alc. 13.0%> <スクリューキャップ>

国/地域等：チリ/エルキヴァレー 生産者：ビーニャ ファレルニア

葡萄品種：モスカート ジャッロ 100% 熟成：ステンレスタンク

品番：W-086/JAN：4935919080866/容量：750ml

¥1,540(本体価格¥1,400)

